

逗子海水浴場のあり方検討会 概要

平成 26 年 9 月 30 日（火） 14：30～16：30

逗子市役所 5 階 第 5 会議室

1. 開会

- ・ 資料確認
- ・ 事務局よりあり方検討会は傍聴できることと、メディアの頭撮りについて説明。
- ・ 事務局より今後の予定について説明

2. 議題 -中間報告の作成について-

- ・ 座長あいさつ
- ・ 座長よりあり方検討会の進行について説明

(1) 条例に関する項目について

＜座長＞ 条例に関することなので 4 項目ある。全項目とも、現状維持とする意見が多かったように感じる。1 項目ずつ内容を見ていきたい。

①砂浜での飲酒禁止について

＜座長＞ 現状維持が 16、変更が 2 ということであつた。現状維持という意見も、変更した方がよいという意見も、報告書に関しては両論併記して中間報告としたいがよいか。

→ 特に異議なし。

- 変更について、両論併記の際には各意見の内容まで載せるのか。

→＜事務局＞ 報告書には、内容まで含めて併記をする。

→ ＜座長＞ 皆さまから頂いた意見を、手を加えずに市長に報告するのが良いと考えているので、そのような方法としたい。

②砂浜でのバーベキューについて

＜座長＞ 現状維持が 16、変更が 2 ということであつた。これもこのまま両論併記で報告する。

→ 特に異議なし。

③スピーカー等の拡声装置の使用禁止について

＜座長＞ 現状維持が 12、変更が 6 ということであつた。これもこのまま両論併記で報告するというので、よいか。

→＜事務局＞ この項目の意見のなかには規則（海の家）に関することも入っているので、その部分に関しては今後規則について議論をする際に、再度意見をいただければと思う。中間報告からは除かせていただく。

→ 特に異議なし。

④入れ墨・タトゥーの露出

＜座長＞ 現状維持が 16、変更が 1 ということであった。これもこのまま両論併記で報告する。

→ 特に異議なし。

⑤その他

＜座長＞ 非常に多くの意見があるが、これもこのまま報告するというので、皆さまにご了承していただきたい。ここまで、事務局から何かあるか。

→＜事務局＞ その他の項目については「スピーカー等拡声装置の使用」の項目と同様に、報告書には条例に関するもの（営業時間等規則に関するものは除く）を載せていきたいと考えている。

→ 特に異議なし。

(2) 予算に関する項目について

＜座長＞ 提案として、予算に関する項目は今回のメインの議題であるが、時間的に非常にタイトなので、期間が短期とされている項目に絞って、議論を進めていきたいと思う。

中長期に関する項目は重要で大切な項目であり、次回もしくはその次の回で議論をしたいと思うのだが、いかがか。

また、予算に関する事項については、全てが実現できるとは限らないということも、理解していただいたうえで、予算に関する項目について議論・検討を行っていただきたい。

①シャワーの増設について

＜事務局＞ [シャワーの設置数、設置場所、使用時間について説明]

＜座長＞ 賛成が 11、反対が 3、その他が 2 ということであった。

- 今年は、海水浴客自体が少なかったこともあるが、15:30 になる 5 分位前には利用者が終わるという状況であった。ただ、使用時間の問い合わせや、15:30 過ぎに帰ろうとした際に使用できない、ということがあったので、現状の使用時間については考える必要がある。増設だけが来場者の満足となるわけではないのかなと。
- あるに越したことはないが、予算に絡むものは一義的意見だけでなく、相対的に見る必要があるのではないか。
- 時代的背景もあると思うが、昔は、シャワーの数が多く、使用時間も余裕があった気がする。シャワーを使用するのは、逗子市民とその家族だと思う。時間に余裕を持って、15:00 から 1 時間位使用できるようにしてはどうか。
- 増やせば良いという問題でもないと思う。多いに越したことはないが、現状でも不便を感じない。
- 予算が少ないから等は考えなくてよいのでは。シャワーを使用しない人は、活動時間と合わないから使用しないのであって、周知をもっと行い、使用時間が長ければ稼働率については上がると思う。その上で、賛否については、各自の思い描く気持ちの良いビーチを

もとに考えれば良いのでは。個人的には、申し訳程度に 30 分だけ開いているシャワーであつたら、いっそのこと無くても良いと思う。逆に通年、常時開放しているものがあつて欲しい。

- 海岸付近マンションの住民から、マンションの外蛇口が自由に使えるという情報が SNS で流れており、実際そこで勝手に水を浴びている者がいたと聞いた。シャワーに関しては、時間の制限がない方が近隣住民には迷惑はかからない。増設よりも時間延長の方が良いのでは。

＜座長＞ 大体の意見は、増設をしなくても時間を少し考えれば何とかなる、というものであつたので、そのような方向で報告する。

②外灯の増設

＜事務局＞ [外灯の設置数、設置場所について説明]

＜座長＞ 賛成が 11、反対が 4、その他が 3 ということであつた。

- 他のテーマである、営業時間とセットで考えている。8 月下旬のパトロールの際には、もう日没が早くなつており、暗かつた。8 月中旬以降、もう少し明るくしてもらえると嬉しい。

＜座長＞ 外灯に関しては、防犯上や、家族連れ、営業時間の問題、など含めてあると思うので、アンケートのまま報告する。

③周知・アピール関係

＜事務局＞ [今年度、実施したことについて説明]

＜座長＞ 方法や、活用する媒体について、アイディア等出していただければ。

- ルールに関することと、ブランディング等のプロモーションに関することは、分けて考えながらも、同時に行うべきだと思う。特にプロモーションは、戦略的にターゲットを絞った広報が大事だと思う。
- 組合に向けてなのだが、逗子海岸の方向性が変わるなかで、組合も一丸となつてアピールする必要があると思う。現在、フェイスブック 2 つとホームページ 1 つがあるが、組合としての方向性を図るならば、管理人の見直し等を図って、きちんとした広報活動・アピールを行う必要があると思う。
- 海水浴場事業は逗子市の歳入にとっての、ビジネスインパクトはどの程度なのか。海水浴客や海の家を、どの程度大事にするべきなのかがわからない。大事なのであれば、組合と市で相対せずに、同じ対象に向かつて、同じことを伝えていくことが出来るようになると思う。
- 商業者の立場から言うと、逗子の観光資源は海しかない。7・8 月で売り上げが落ちている商業者もあり、海の家も含めた商業者としては稼ぎのウエイトが大きい。ファミリービーチというターゲットでも良いので、アピールして人を呼び込んで欲しい。また、夏場の雰囲気は今年の方が好ましく、昨年のような状況はダメだと思っている、という意見が多かつたが、売上で言うと例年 7 割近い業者がアップするところ、今年は 7 割近い業者がダ

ウンした。秩序が保たれた状態で、海水浴客が大勢来ても大丈夫、というようにして欲しい。まちの賑わいとして、逗子のイメージをあげていただきたい。

- 観光協会の理事会でも、客層が良くなったが客数は減ったので、今年のような良い客層が増えてくれれば良いという意見があった。今後は、それをPRし、来年はお客さんに来てもらえるように、まずは近隣の方にも理解いただいて、地元の子ども達に来てもらって、市外からも来てもらえるようなことを考えていく。
- 浜を現状維持とし、客数をどれだけ増やせるかという議論は、ちょっと無理があると思う。他に議論の場があって良いのかもしれないが、逗子海岸のあるべき姿という1つの方針を変えていかないと、規則や営業時間等の話をしても意味がないのでは。全体像と一致していかないと、中々意見が絡んでこない気がする。
- 魅力のない物には、いくらPRしても人は来ない。何かPRポイントを作らないと、PRはできない。他にない魅力を出して、PRすべき物がないと、いくらPRしても効果は非常に薄くなる。

＜座長＞ 皆さまから、意見等を頂いたので事務局がそれを記録に残して、報告書に載せるように。

④防犯カメラ

＜事務局＞ [防犯カメラは設置していないことを説明]

＜座長＞ 賛成が12、反対が5、その他が1ということであった。

- 反対意見は、防犯カメラの議論では必ず出てくるもの。海岸付近には、たくさん設置して欲しい。イタズラする者が多く、後で記録を見て対応することが必要になる。プライバシーの問題については、しっかりしたルールのもとで管理をすれば、良いだろう。
- 事務局に聞きたいのだが、防犯カメラについては、砂浜か住宅地かどちらに設置することを想定しているのか。砂浜なら反対だが、住宅地なら賛成する。

→＜事務局＞ 現状設置していないので、皆さまからの設置場所・設置期間について提案があればそれを検討していきたい。

- 134号線をくぐる地下道やシンボルロードなど、わかりやすい場所に設置して欲しい。海岸に行く人が撮れば犯罪の抑止力になると思う。海岸にも防犯カメラが必要だが、1年程度で錆びてダメになるため、毎年交換となると、予算的負担が膨らむ。
- 住宅地等の町中の防犯の話であれば、それは違う視点で議論すべきではないか。
- 防犯カメラは、防犯目的の物なので、昼間に人が泳いでいるものを撮っても仕方ない。134号線をくぐる地下道のような暗い場所は、犯罪が発生してもおかしくないと思われる。その様な場所から、砂浜へ向けて人が撮れるように設置すれば、効果があると思う。明かりも近くにある方が、暗くてもしっかり撮れるので良いのではないか。
- 砂浜の人を防犯カメラで撮る必要はあるのだろうか。ファミリービーチのイメージが下がってしまうのではないか。入り口や、住宅地なら防犯になると思うが、砂浜には設置しない方がよいと思う。
- 地形的な違いがあるが、江ノ島片瀬西浜の防犯カメラは海の家裏の通路を撮り、水着姿の人が写るかもしれないが、砂浜は撮っていなかった。今年、警備員や警察が巡回して

いる常に監視されている状況が、娯楽施設という意味では問題なのではないか。抑止効果さえあれば良いので、防犯カメラは海から陸に向けて入り口に設置するというイメージであった。高額な経費をかけて警備員を頼むのか、防犯カメラでやってみるのか、という選択であり、今年ある程度効果があったならば、防犯カメラに切り替えてみても良いのではないか、ルールを守ってもらうための手段・効果ということで前回提案した。

＜事務局＞ [市の他の公共施設で防犯カメラを設置している施設はあること、防犯カメラの設置に関する決まりを作っていること、市の管理権が及ばない場所には設置できないこと、最近の防犯カメラの仕組み]について説明。

- 目的は何なのか、悪いことをする犯人を突き止めるためか。防犯カメラの存在感にも意味はあると思う。もし、抑止力が目的であるならば、防犯カメラを設置していることの周知もするのか。何を見たいのかが具体的にイメージできないので、提案された方に教えていただければ。
- 昨年までの状況だと必要だったかもしれない。防犯カメラは昼間より夜間必要だと思うので、海の家営業時間が遅く、砂浜にも夜遅くまで人がいる状況だったら、ありとあらゆる場所に設置して欲しかった。しかし、今年のような状況であれば、そこまでは必要ないと思う。
- ルール遵守の抑止効果を期待していた。ずっと監視するとか、夜間の防犯のために設置ということではない。高額な経費がかかる警備員は今年と同規模は必要ない考えるので、その代替手段として、防犯カメラである程度抑止効果を担保できるのではないか、という期待から提案した。
- 防犯カメラは、見られているという抑止力が基本的効果。それを、見ていると思う人がいるとプライバシーの問題となってしまう。最近の防犯カメラは、ある程度の期間で映像が自動的に上書きされるので、何かが起こったときにそれを見れば、裏付けが取れる、というシステムの中での防犯カメラの活用法だと思う。

海岸を撮らず、まち側に向けて要所に設置できれば解決するし、警備員の規模を縮小すれば、浮いた分で防犯カメラは設置できると思う。

- 昨年まで、海岸組合のホームページでは、事務所に設置しているライブカメラで砂浜を見る事ができた。今更、砂浜を撮ることが話題になっているのは、ちょっと遅い気がした。また、夜中の2・3時でも海岸に人は来ているので、防犯の意味でも防犯カメラはあった方が良いのかなと。

＜座長＞ 様々な意見が出たが、アンケートでは賛成が12ということなので、皆さまの意見を活用させていただいて、報告をしたいと思う。

⑤来年度のマナーアップ警備について

＜座長＞ 賛成が17、反対が1であった。防犯カメラの際にも出てきたが話題だが、これについて議論を行いたい。

- 海岸を歩いていた際に飲酒等を注意したのだが、飲酒している人は多かったが、昨年とは明らかに客層が違った。注意すれば、ある程度理解してくれる人が多かった。マナーア

ップ警備は必要だとは思いますが、状況は良くなってきていた。

- 警備員は、よく動いていて、しつこいくらい注意を行っていたが、やはり罰則規定がないので、従わない者がいた。警備員の問題だけではなく、別のところにもあると思う。
- 今の状態が続けば、年々海水浴客のマナーは良くなるのではないか。今年良かったと思った人は来年も来るし、口コミなどでお客さんは来るのではないかと信じている。2・3年経ったら、客数も増えるだろうし、マナーの良い人も来ると思う。なので、もう少し今のままで様子をみるべきだと思う。
- 事務局に、客観的な経済波及効果のような、海水浴客が増えたらどれだけ予算が増えるべきなのかを数字として出して欲しい。ベースとなる数字がないと、話が進まない気がする。難しいかもしれないが、計算して出して欲しい。少なくとも支出はあり方検討会に公開すべき。収入は、商工会へのヒアリングや、何らかの指標があると思うので計算して欲しい。
- 子どもを育てる環境だけで言えば、今年は良かったし安心できた。しかし、今後高齢化が進み、市が本当に苦しくなった際に、大人になった子ども達への負担が増えてしまう可能性を考えると、子ども達の幸せに繋がるのかと疑問も感じる。だた、どちらを選択して良いのかが本当に分からないので、一般の人でもわかりやすく考えられる指標・数字が欲しい。

<事務局> 残念ながら経済効果についての指標はなく、作ったことが無いのも事実。市の観光としては、市民の方が喜ぶ観光も、市外の方が喜ぶ観光も必要であり、それが市のイメージアップに繋がり、来訪者が増え経済効果に繋がるという、色々な面があって考えることだと思う。その中で、海水浴場運営費だけに絞って昨年と今年の比較を申し上げると、昨年：約1,700万円、今年：約2,900万円であり約1,000万円増加したのは、マナーアップ警備増強と、条例改正を市内外に周知するために予算を取らせていただいたから。

市全体の予算という枠の中で、各事業への割振りが行われているので、3,000万円の支出が2,500万円に減ったとして、差額の500万円を再び海水浴場運営費で使えるかという、必ずしもそういう訳ではない。

- 逗子市は高齢化が進んでいるため、税収が良くない状態。逗子市1番の資源・ピーアールポイントは海岸だと思っている。感覚だが、その海岸に対する支出を増やし、ピーアールポイントを持ち上げることにより、支出よりも大きな経済効果があるのではないと思う。支出の何%を占めているのかも含めて、教えて欲しい。難しいかもしれないし、誤差があっても良いので、経済効果を計算して、数字を出して欲しい。

住民としては人が来ない方が正直嬉しいが、それではいけないと思い、何かしていかなければいけないと感じている。この検討会のメンバーは恐らく、地域住民だけで厳しいルールを作成すれば良いとは思っておらず、経済指標・観光資源に対して、どのようなウエイトとするのかという立場で議論して、方向性ができると思う。そのベースとなる資料は早急に作成して欲しい。

- 中心市街地というものがあり、その中で、アンケートにおいて海水浴場開設が商売に影響すると思うと答えた事業者は3割程度であった、という現状がある。そこに、小坪や東

逗子などを含めると、ほとんどの商業者は影響がなくなってくる。ただ、観光資源としての海との関わりあい、成り立っている商業者もいる。経済効果という話となると、商業者の利益だけではないのかなと。例えば、不動産業で言えば、ファミリービーチというのはある面では良い効果があると思う。海があるというのはプラスで、それを良くするというのは、全体的な商業者のマーケットを上げていける可能性を秘めている。そういった点での新しい産業・商業のあり方ということを考えられる余地は持っているし、持たなければいけないと思う。

しかし、現段階でそれを金額に変える指標はないのが事実。

- 直接の経済効果はそこまで大きくないと思う。それ以外に、例えば不動産価格は東京からの距離にしてみると高く、それは駅と海の間が一番高いからであり、そこには、潜在的な魅力あるビーチという前提のもとでの積み重ねがあるから。今のファミリービーチは、不動産価格が良い効果があるというのは疑問で、規制が厳しく若者から嫌われるビーチというのは、長期的に見て本当に良いことなのかは議論すべきだと思う。

<座長> マナーアップ警備のことから色々な意見が出てきたが、申し訳ないが先に進ませていただきたい。先程、ある程度まとめていただいた（６ページ、一番上の意見のこと）議論であるが、残り時間の関係から次へと進ませていただく。

- 逗子７丁目東自治会の役員会では、今年良くなったので、現状維持という意見であった。先程、若者から嫌われるという意見があったが、若者は来ていたし、逗子の若者もいたので、勘違いではないか。来て欲しくない、下品な若者には嫌われても構わない。実際に海水浴場へ行ったり、話を聞いた限りでは、市民の方の評判がいいのでは。
- 予算に関しては余りにしないで、最終的には市長が決定するという意味では、様々な意見をたくさん出すことが大事だと思う。
- 予算に関しては余りにすることはないという一方で、逗子が海水浴場を経済的にどの程度必要としているのかを知りたい。
- 経済効果等を知った上で発言したい。

<座長> 経済効果などは流動的なものであり、今数字を出しても、それがずっと続くわけではない。今の時点で、市長に対してこの様な物が欲しいと報告し、実施できるかを判断してもらい、その程度で良いのではないか。

全体的な予算のことなどを考えるのであれば、この検討会ではなくて、別で議論していただければ良いと考える。

- 座長に同意する。あり方検討会の方向が、まちづくりという大きなものになりつつあると感じる。もう少し絞った方が良いのでは。

⑥海までの案内看板等の整備、海水浴場内の案内看板設置について

<座長> 逗子６・７丁目の方は、大変迷惑を被ったのではないかと思います。そのあたりについて、意見などあるか。

- 自分の周りでは、現状維持を望む声が多かった。そのような方の家族でも海水浴場に行っている方はいた。個人的には、看板について違和感はなかった。延命寺の裏の横断幕を見て、感心した。

<座長> 時間も押してきたので、「その他予算が関係すると考えられる事項や課題」については、他の事項と同様に、提案として中間報告する。来年以降の海水浴場の振興・活性化・集客につながると考えられる、ファミリー向けのイベント等の項目については、今後につなげて、具体的な実施方法・アイデアを皆さんで出し合い、話し合いをする会に、次回からしていきたい。

<事務局> 次回については、10月16日の14:30~16:30を予定している。改めて通知する。また、資料1 アンケートの集計結果については、次回も持ってきていただきたい。

逗子海水浴場のあり方検討会概要 別表

2014 年 9 月 30 日の「逗子海水浴場のあり方検討会概要」における意見等を項目別に分類した表となっています。

項目	内容
シャワーについて	● 今年は、海水浴客自体が少なかったこともあるが、15：30 になる 5 分位前には利用者が終わるという状況であった。ただ、使用時間の問い合わせや、15：30 過ぎに帰ろうとした際に使用できない、ということがあったので、現状の使用時間については考える必要がある。増設だけが来場者の満足となるわけではないのかなど。 ● あるに越したことはないが、予算に絡むものは一義的意見だけでなく、相対的に見る必要があるのではないかな。 ● 時代的背景もあると思うが、昔は、シャワーの数が多く、使用時間も余裕があった気がする。シャワーを使用するのは、逗子市民とその家族だと思う。時間に余裕を持って、15：00 から 1 時間位使用できるようにしてはどうか。 ● 増やせば良いという問題でもないと思う。多いに越したことはないが、現状でも不便をしていないように感じる。 ● 予算が少ないから等は考えなくてよいのでは。シャワーを使用しない人は、活動時間と合わないから使用しないのであって、周知をもっと行い、使用時間が長ければ稼働率については上がると思う。その上で、賛否については、各自の思い描く気持ちの良いビーチをもとに考えれば良いのでは。個人的には、申し訳程度に 30 分だけ開いているシャワーであつたら、いっそのこと無くても良いと思う。逆に通年、常時開放しているものがあつて欲しい。 ● 海岸付近マンションの住民から、マンションの外蛇口が自由に使えるという情報が SNS で流れており、実際そこで勝手に水を浴びている者がいたと聞いた。シャワーに関しては、時間の制限がない方が近隣住民には迷惑はかからない。増設よりも時間延長の方が良いのでは。 <座長> 大体の意見は、増設をしなくても時間を少し考えれば何とかなる、というものであったので、そのような方向で報告する。
外灯について	● 他のテーマである、営業時間とセットで考えている。8 月下旬のパトロールの際には、もう日没が早くなっており、暗かった。8 月中旬以降、もう少し明るくしてもらえると嬉しい。 <座長> 外灯に関しては、防犯上や、家族連れ、営業時間の問題、など含めてあると思うので、アンケートのまま報告する。

周知・アピール	● ルールに関することと、ブランディング等のプロモーションに関することは、分けて考えながらも、同時に行うべきだと思う。特にプロモーションは、戦略的にターゲットを絞った広報が大事だと思う。 ● 組合に向けてなのだが、逗子海岸の方向性が変わるなかで、組合も一丸となってアピールする必要があると思う。現在、フェイスブック2つとホームページ1つがあるが、組合としての方向性を図るならば、管理人の見直し等を図って、きちんとした広報活動・アピールを行う必要があると思う。 ● 海水浴場事業は逗子市の歳入にとっての、ビジネスインパクトはどの程度なのか。海水浴客や海の家を、どの程度大事にするべきなのかがわからない。大事なのであれば、組合と市で相対せずに、同じ対象に向かって、同じことを伝えていくことが出来るようになると思う。 ● 商業者の立場から言うと、逗子の観光資源は海しかない。7・8月で売り上げが落ちている商業者もあり、海の家も含めた商業者としては稼ぎのウエイトが大きい。ファミリービーチというターゲットでも良いので、アピールして人を呼び込んで欲しい。また、夏場の雰囲気は今年の方が好ましく、昨年のような状況はダメだと思っている、という意見が多かったが、売上で言うと例年7割近い業者がアップするところ、今年は7割近い業者がダウンした。秩序が保たれた状態で、海水浴客が大勢来ても大丈夫、というようにして欲しい。まちの賑わいとして、逗子のイメージをあげていただきたい。 ● 観光協会の理事会でも、客層が良くなったが客数は減ったので、今年のような良い客層が増えてくれれば良いという意見があった。今後は、それをPRし、来年はお客さんに来てもらえるように、まずは近隣の方にも理解いただいて、地元の子供達に来てもらって、市外からも来てもらえるようなことを考えていく。 ● 浜を現状維持とし、客数をどれだけ増やせるかという議論は、ちょっと無理があると思う。他に議論の場があって良いのかもしれないが、逗子海岸のあるべき姿という1つの方針を変えていかないと、規則や営業時間等の話をして意味がないのでは。全体像と一致していかないと、中々意見が絡んでこない気がする。 ● 魅力のない物には、いくらPRしても人は来ない。何かPRポイントを作らないと、PRはできない。他にない魅力を出して、PRすべき物がないと、いくらPRしても効果は非常に薄くなる。 <座長> 皆さまから、意見等を頂いたので事務局がそれを記録に残して、報告書に載せるように。
防犯カメラ	● 反対意見は、防犯カメラの議論では必ず出てくるもの。海岸付近には、たくさん設置して欲しい。イタズラする者が多く、後で記録を見て対応することが必要になる。プライバシーの問題については、しっかりしたルールのもとで管理をすれば、良いだろう。

防犯カメラ	● 事務局に聞きたいのだが、防犯カメラについては、砂浜か住宅地かどちらに設置することを想定しているのか。砂浜なら反対だが、住宅地なら賛成する。 →＜事務局＞ 現状設置していないので、皆さまからの設置場所・設置期間について提案があればそれを検討していきたい。 ● 134 号線をくぐる地下道やシンボルロードなど、わかりやすい場所に設置して欲しい。海岸に行く人が撮れれば犯罪の抑止力になると思う。海岸にも防犯カメラが必要だが、1 年程度で錆びてダメになるため、毎年交換となると、予算的負担が膨らむ。 ● 住宅地等の町中の防犯の話であれば、それは違う視点で議論すべきではないか。 ● 防犯カメラは、防犯目的の物なので、昼間に人が泳いでいるものを撮っても仕方ない。134 号線をくぐる地下道のような暗い場所は、犯罪が発生してもおかしくなくと思われる。その様な場所から、砂浜へ向けて人が撮れるように設置すれば、効果があると思う。明かりも近くにある方が、暗くてもしっかり撮れるので良いのではないか。 ● 砂浜の人を防犯カメラで撮る必要はあるのだろうか。ファミリービーチのイメージが下がってしまうのではないか。入り口や、住宅地なら防犯になるとは思いますが、砂浜には設置しない方がよいと思う。 ● 地形的な違いがあるが、江ノ島片瀬西浜の防犯カメラは海の家裏の通路を撮り、水着姿の人が写るかもしれないが、砂浜は撮っていなかった。今年、警備員や警察が巡回している常に監視されている状況が、娯楽施設という意味では問題なのではないか。抑止効果さえあれば良いので、防犯カメラは海から陸に向けて入り口に設置するというイメージであった。高額な経費をかけて警備員を頼むのか、防犯カメラでやってみるのか、という選択であり、今年ある程度効果があつたならば、防犯カメラに切り替えてみても良いのではないか、ルールを守ってもらうための手段・効果ということで前回提案した。 ＜事務局＞ [市の他の公共施設で防犯カメラを設置している施設はあること、防犯カメラの設置に関する決まりを作っていること、市の管理権が及ばない場所には設置できないこと、最近の防犯カメラの仕組み]について説明。 ● 目的は何なのか、悪いことをする犯人を突き止めるためか。防犯カメラの存在感にも意味はあると思う。もし、抑止力が目的であるならば、防犯カメラを設置していることの周知もするのか。何をしたいのかが具体的にイメージできないので、提案された方に教えていただければ。 ● 昨年までの状況だと必要だったかもしれない。防犯カメラは昼間より夜間必要だと思うので、海の家営業時間が遅く、砂浜にも夜遅くまで人がいる状況だったら、ありとあらゆる場所に設置して欲しかった。しかし、今年のような状況であれば、そこまでは必要ないと思う。 ● ルール遵守の抑止効果を期待していた。ずっと監視するとか、夜間の防犯のために設置ということではない。高額な経費がかかる警備員は今年と同規模は必要
--------------	---

防犯カメラ	ないと考えるので、その代替手段として、防犯カメラである程度抑止効果を担保できるのではないかと、という期待から提案した。 ● 防犯カメラは、見られているという抑止力が基本的効果。それを、見ていると思う人がいるとプライバシーの問題となってしまう。最近の防犯カメラは、ある程度の期間で映像が自動的に上書きされるので、何かが起こったときにそれを見れば、裏付けが取れる、というシステムの中での防犯カメラの活用法だと思う。 ● 海岸を撮らず、まち側に向けて要所に設置できれば解決するし、警備員の規模を縮小すれば、浮いた分で防犯カメラは設置できると思う。 ● 昨年まで、海岸組合のホームページでは、事務所に設置しているライブカメラで砂浜を見る事ができた。今更、砂浜を撮ることが話題になっているのは、ちょっと遅い気がした。また、夜中の2・3時でも海岸に人は来ているので、防犯の意味でも防犯カメラはあった方がよいのかなと。 ＜座長＞ 様々な意見が出たが、アンケートでは賛成が12ということなので、皆さまの意見を活用させていただいて、報告をしたいと思う。
マナーアップ警備	● 海岸を歩いていた際に飲酒等を注意したのだが、飲酒している人は多かったが、昨年とは明らかに客層が違った。注意すれば、ある程度理解してくれる人が多かった。マナーアップ警備は必要だとは思いますが、状況は良くなってきていた。 ● 警備員は、よく動いていて、しつこいくらい注意を行っていたが、やはり罰則規定がないので、従わない者がいた。警備員の問題だけではなく、別のところにもあると思う。 ● 今の状態が続けば、年々海水浴客のマナーは良くなるのではないかと。今年良かったと思った人は来年も来るし、口コミなどでお客さんは来るのではないかと信じている。2・3年経ったら、客数も増えるだろうし、マナーの良い人も来ると思う。なので、もう少し今のままで様子をみるべきだと思う。
看板に関する事	● 自分の周りでは、現状維持を望む声が多かった。そのような方の家族でも海水浴場に行っている方はいた。個人的には、看板について違和感はなかった。延命寺の裏の横断幕を見て、感心した
その他	● 事務局に、客観的な経済波及効果のような、海水浴客が増えたらどれだけ予算が増えるべきなのかを数字として出して欲しい。ベースとなる数字がないと、話が進まない気がする。難しいかもしれないが、計算して出して欲しい。少なくとも支出はあり方検討会に公開すべき。収入は、商工会へのヒアリングや、何らかの指標があると思うので計算して欲しい。 ● 子どもを育てる環境だけで言えば、今年は良かったし安心できた。しかし、今後高齢化が進み、市が本当に苦しくなった際に、大人になった子ども達への負担が増えてしまう可能性を考えると、子ども達の幸せに繋がるのかと疑問も感じ

その他	る。だが、どちらを選択して良いのかが本当に分からないので、一般の人でもわかりやすく考えられる指標・数字が欲しい。 ＜事務局＞ 残念ながら経済効果についての指標はなく、作ったことが無いのも事実。市の観光としては、市民の方が喜ぶ観光も、市外の方が喜ぶ観光も必要であり、それが市のイメージアップに繋がり、来訪者が増え経済効果に繋がるという、色々な面があって考えることだと思う。その中で、海水浴場運営費だけに絞って昨年と今年の比較を申し上げますと、昨年：約1,700万円、今年：約2,900万円であり約1,000万円増加したのは、マナーアップ警備増強と、条例改正を市内外に周知するために予算を取らしていただいたから。 市全体の予算という枠の中で、各事業への割振りが行われているので、3,000万円の支出が2,500万円に減ったとして、差額の500万円を再び海水浴場運営費で使えるかという、必ずしもそういう訳ではない。 ● 逗子市は高齢化が進んでいるため、税収が良くない状態。逗子市1番の資源・ピーアールポイントは海岸だと思っている。感覚だが、その海岸に対する支出を増やし、ピーアールポイントを持ち上げることにより、支出よりも大きな経済効果があるのではないかと思う。支出の何%を占めているのかも含めて、教えて欲しい。難しいかもしれないし、誤差があっても良いので、経済効果を計算して、数字を出して欲しい。 住民としては人が来ない方が正直嬉しいが、それではいけないと思い、何かしていかなければいけないと感じている。この検討会のメンバーは恐らく、地域住民だけで厳しいルールを作成すれば良いとは思っておらず、経済指標・観光資源に対して、どのようなウエイトとするのかという立場で議論して、方向性ができると思う。そのベースとなる資料は早急に作成して欲しい。 ● 中心市街地というものがあり、その中で、アンケートにおいて海水浴場開設が商売に影響すると思うと答えた商業者は3割程度であった、という現状がある。そこに、小坪や東逗子などを含めると、ほとんどの商業者は影響がなくなってくる。ただ、観光資源としての海との関わりあいで、成り立っている商業者もいる。経済効果という話となると、商業者の利益だけではないのかなと。例えば、不動産業で言えば、ファミリービーチというのはある面では良い効果があると思う。海があるというのはプラスで、それを良くするというのは、全体的な商業者のマーケットを上げていける可能性を秘めている。そう言った点での新しい産業・商業のあり方ということを考えられる余地は持っているし、持たなければいけないと思う。 しかし、現段階でそれを金額に変える指標はないのが事実。 ● 直接の経済効果はそこまで大きくないと思う。それ以外に、例えば不動産価格は東京からの距離にしてみると高く、それは駅と海の間が一番高いからであり、そこには、潜在的な魅力あるビーチという前提のもとでの積み重ねがあるか
------------	---

	ら。今のファミリービーチは、不動産価格が良い効果があるというのは疑問で、規制が厳しく若者から嫌われるビーチというのは、長期的に見て本当に良いことなのかは議論すべきだと思う。 ● 逗子7丁目東自治会の役員会では、今年良くなったので、現状維持という意見であった。先程、若者から嫌われるという意見があったが、若者は来ていたし、逗子の若者もいたので、勘違いではないか。来て欲しくない、下品な若者には嫌われても構わない。実際に海水浴場へ行ったり、話を聞いた限りでは、市民の方の評判がいいのでは。 ● 予算に関しては余りにしないで、最終的には市長が決定するという意味では、様々な意見をたくさん出すことが大事だと思う。 ● 予算に関しては余りにすることはないという一方で、逗子が海水浴場を経済的にどの程度必要としているのかを知りたい。 ● 経済効果等を知った上で発言したい。 ＜座長＞ 経済効果などは流動的なものであり、今数字を出しても、それがずっと続くわけではない。今の時点で、市長に対してこの様な物が欲しいと報告し、実施できるかを判断してもらい、その程度で良いのではないかと。 全体的な予算のことなどを考えるのであれば、この検討会ではなくて、別で議論していただければ良いと考える。 ● 座長に同意する。あり方検討会の方向が、まちづくりという大きなものになりつつあると感じる。もう少し絞った方が良いのでは。
--	---